

歌舞伎のあれこれ

<大向うとは>

劇場の後ろの方から、●●屋! ●●屋! 待ちました! と声が飛んできます。これを歌舞伎では、一番向かい側から声をかけるので「大向う」と呼んでおります。

<見得を切るとは>

物語の盛り上がりやここぞという見せ場で、目をぐりっと寄せてポーズすることを「見得を切る」といいます。

<ツケ打ちとは>

見得を切った時にパーン! パーンと! 音が鳴ります。これを「ツケ打ち」と言います。

見得を切る時の他にも、さまざまなものに音をつけることができます。例えば歩く、走る、立ち回りやものを落とした時に「ツケ」がつくことで、大きな劇場でも「ツケ打ち」の音で、お客様は今何が起こったかわかります。

<花道とは>

歌舞伎の舞台機構は一つの額縁になっております。

お客様から見て左側に客席を貫く1本の道を「花道」といいます。

その道の七三(7:3)のところに「すっぽん」という上下する装置があります。

主役級のメインの役者さんは、必ずと言って良いほどそこで止まってポーズをします。

お客さまとの一体感が生まれる場所です。

<力足とは>

力強く踏み込む、歌舞伎の一つの技法。